



学校法人向陽学園
歴史編集室発行
TEL.0957(52)3210

~GO BEYOND~ 創立101周年 4月20日創立記念日 !!



新ロゴマーク

学校法人向陽学園 向陽高等学校は大正13年創立以来、今年101周年を迎えました。令和6年度は、「創立100周年」にあたり多くの皆様からのご厚志を賜り記念事業の成果として、新たな学びの形に対応した教育環境の充実を図ることができ、次世代を担う人材の育成にも努めることができました。

次の100年に向けて「新ロゴマーク」のキャッチフレーズ「GO BEYOND」が示すように、新たな息吹の創造に挑戦していきましょう。

令和7年度 始動！！

令和7年度 学校法人向陽学園 「新規採用教職員発令通知書交付式」

4月1日(火)、烏山雅之理事長が令和7年度新規採用教職員へ通知書を交付し、激励のこたばを述べました。(以下一部抜粋)

(写真は高校、看護専攻科、長崎リハビリテーション学院、学園本部の新採用職員)



本学園は、創立以来100年を超える歴史を刻んでまいりました。その歩みの中で一貫してきたのは、「建学の精神」に根ざした職業教育の実践です。「人が社会で自立し、他者と協働し、誇りある仕事に生きる」、そうした姿を支える教育こそ、私たちが信じてきたものであり、今も変わらぬ姿勢となっています。そして本年、向陽学園は102年目という新たな段階を迎えました。私たちはこの節目にあたり、「原点回帰」と「変化対応」という二つの視点を大切に据えています。教育の原点に立ち返るとは、何より「人を育てる」ことの本質を見つめ直すこととなります。そして、変化に対応するとは、既存の枠にとどまらず、新たな課題や価値観に対し、しなやかに応じていく姿勢を持って臨むことです。この点において、私は皆さんに次のような言葉を紹介したいと思います。

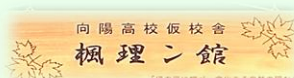
“The measure of intelligence is the ability to change.” (Albert Einstein)

「知性の尺度とは、変化する能力である。」

このアインシュタインの言葉は、私たち教育に携わる者にこそ、深く響くものではないでしょうか。環境が変われば子どもたちの心も変わり、求められる教育の姿もまた変わっていきます。私たち自身が変化を恐れず、自らも学び続けることで、初めて子どもたちの成長に本気で寄り添うことができるのです。向陽学園には、経験年数や立場を越えて、互いを尊重し、学び高め合うことを大切にするという土壌があります。皆さんがこれまで培ってこられた資質や専門性に、現場での経験と新たな学びが重ねられていくことで、さらに豊かな教育実践が築かれていくことを期待しています。今日からの一步一步の積み重ねが、向陽学園の未来を形づくり、そして生徒一人ひとりの人生に深く関わるものとなります。どうか、高い志を胸に、柔軟さと誠実さをもって日々の教育にあたってください。ともに、奉仕の理想と志を実現させるため、新たな歩みを始めてまいりましょう。

令和7年4月1日

学校法人向陽学園 理事長 烏山 雅之



ふうりんかん
「楓理ン館」

「楓の葉に学べ、変化こそ自然の理なり」

仮校舎に校名板が設置されました。校名の意味を理解して、新しい自分を発見する為にも果敢に挑戦して欲しいと思います。



いま「高校」では!



治療後の
「ジャカラング」

全国大会結果

全国高校選抜バドミントン大会(3/23~26)石川

シングルス 藤原菜桜:1回戦 0-2 埼玉栄高校

全国高校選抜ソフトボール大会(3/21~24)大村

向陽高校:2回戦 0-1 比叡山高校



「第1・2・3校舎跡」3/26
通用門があった位置からと、左上6校舎から望む。

向陽学園 102年目の春「323名」が入学！！



向陽高等学校 令和7年度入学式

4月9日(水)、第78回入学式が多くのご来賓を招待して体育館で行われ、烏山雅之理事長・校長先生が6学科164名に入学許可を宣言しました。そして、生徒会長が歓迎の言葉を述べ、新入生代表が宣誓を行いました。



烏山雅之校長先生



生徒会長歓迎挨拶



看護専攻科 令和7年度入学式

4月9日(水)、第47回入学式がご来賓を招待して高校体育館で行われ、烏山雅之理事長・校長先生が28名の入学生と保護者の皆様を前に式辞を述べました。



新入生代表宣誓



在校生歓迎挨拶



その時 向陽は！！

「挑戦」はいまもつづく



100年前の新聞を見ると、関東大震災から復興しようとする様子や、「都会のくらしはたいへんだ」ということが書いてあります。その中に「洋服の裁縫師」の求人広告がありました。ちょうど洋服が広まりつつある頃で、女性の社会進出も議論されていました。これからの世の中がどう変わるのか答えが見えない中、大村裁縫女学校が設立され、洋裁と教養を身につけるといふ、日本で最先端の教育が行われていたのです。いまとちがって農業をする人が大半でしたが、昭和には製造業やサービス業をする人がほとんどになり、平成から令和には世界中でデジタル通信が発展して「知識産業」が生まれました。これからのグローバルな世界で、若者が生きていくために必要な能力を身に付けるため、向陽高校の教育のあらたな挑戦は今も続いています。

参考文献

- ・東京朝日新聞(1924年4月20日朝刊)
- ・大正大学地域構想研究所研究レポート「この15年で日本の産業構造はどう変わったのか？」(2019年4月26日)

こようようちえん 明るく なかよく 元気よく
創立75周年

令和7年度入園式

4月12日(土)、第76回入園式が行われ、烏山有希子園長先生が56名の園児と保護者の皆様にお祝いの言葉を述べました。

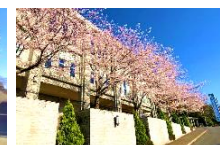


長崎リハビリテーション学院 令和7年度入学式



4月4日(金)、シーハットおおむら「さくらホール」で入学式が行われ75名が入学しました。

- 理学療法学科(一部):第45回(33名)
- 言語療法学科:第35回(23名)
- 作業療法学科:第20回(19名)



<シリーズ>「GO BEYOND～次の100年へ向けて～」

令和6年度「創立100周年記念事業」推進委員会開催

3月7日(金)18時から、高校多目的室にて最後の委員会が開催されました。事務局からこれまでの事業報告等説明がなされ、役員からご意見を伺いました。役員の皆様には5年間にわたりご協力いただき誠にありがとうございました。



烏山理事長



高山会長

